



うさぎぐみだより 2月号

令和6年度2月22日(木)
幼保連携型認定こども園
津田このみ学園 今在家分園

昼夜の寒暖の差はありますが、日中のぽかぽかな陽気が春を感じさせてくれます。子ども達も「暑くなってきた!」と、上着を脱いで元気に走っています。



～はさみを使って一回切りをしたよ～



子ども達は製作が好きで、いつも「何作るの?」「やりたい!」と興味をもっています。

はさみの一回切りを子ども達としました。まず始めに持ち方、相手への渡し方、使い方を間違えるととても危ないことを伝えました。安全に正しく使えるようにみんなしっかり話を聞いていました。初めて持つ子も多く、上手くはさみが開かなかったり真っすぐに切れなかったりしていましたが、一緒に持って動かしてみるうちに少しずつ慣れ、集中して最後まで切り、「できたー!」と嬉しそうにしていました。繰り返し使うことで、少しずつ慣れてきています。「もうお姉ちゃんだから!」「お兄ちゃんだから!」と、お兄さんお姉さんのように道具を使えるようになり嬉しそうでした。

<はさみ>
手は切らないように丁寧に!真っすぐに切ります。

<のり>
人差し指で、のりをつけすぎないように…

<クレパス>
左手で紙を抑えて丁寧に色を塗りました。



家庭での「遊び」のレシピ



絵本を読む

絵本を開くだけで、言葉のやり取りができ、物語の世界へ連れて行ってくれる魔法のツールです。膝の上で大人の声を聴く、それだけで安心感も得られ、情緒も落ち着きます。また、子どもが何かに興味をもったら、一緒にそのことについての本を見てみるのもいいかもしれませんね。



触れ合い遊び

子どもにとって、ふれたりふれられたりすることは大切です。スキンシップを通して、その人との良好な関係を築きます。たくさんのスキンシップを通して、子ども達はきっと「自分が愛されている」という強い実感が残ると思います。



お手伝いを遊びに

少し大きくなってきて「自分で」「いや」が多くなってきた子ども達には、お手伝いがおすすです。家で役に立つということが子どもの自己肯定感を育みます。



自然と遊ぶ

乳幼児期には、体を動かすことがとても大切です。どんどん外へ行きましょう。自然の中で遊んでいる時、子どもは知らず知らずのうちに五感を研ぎ澄ませ、様々な事を学んでいます。